

## より活気のある町へ

### ～登龍中学校 町長さんと語る会～

1月13日(水)、登龍中学校体育館で『町長さんと語る会』が行われました。3年生の生徒97人が町の今とこれからを考え、各クラスの代表班が自分たちの考えをスライドを使用して提案しました。またクラスの他の班も自分たちが考えた提案を行いました。

提案は、アンビバスの活用方法、百梅園などの町内観光施設の有効利用、(仮称)安八スマートIC近くへの道の駅の設置などがありました。

堀町長は「皆さん第五次総合計画の内容をよく調べてくれています。全ての世代がよりよく暮らせるような町づくりに反映していきます。」と話されました。



▲様々な提案がされました

## おいしいもち米をどうぞ

### ～名森野球スポーツ少年団がもち米寄贈～

12月22日(火)、名森野球スポーツ少年団(小川文雄代表)の代表団員らが特別養護老人ホームあすわ苑を訪れ、もち米1俵(約60kg)を寄贈しました。毎年夏に同団の5、6年生が田植えを行っています。同苑に寄贈されるのは今回が初めてとなります。

管理者である堀町長は「暑い中、一生懸命田植えをしてくれたもち米を寄贈していただきありがとうございます。」と感謝の言葉を述べられました。

このもち米は年始の赤飯として入所者の皆さんに振る舞われたほか、年間を通して行事食として使われます。



▲おいしく召し上がってください

### お詫びと訂正について

広報あんぱち1月号の坂英臣氏が瑞宝双光章ずいほうそうこうしょうを受章された記事について、その内容が不明確であったので、次の通り訂正させていただきます。

平成27年秋の叙勲に際し、平成27年11月3日(火・祝)、中地区在住の坂英臣氏が瑞宝双光章ずいほうそうこうしょうを受章されました。氏は昭和42年4月に岐阜県庁に入庁され、その後、岐阜県農政部次長、同農林商工部農林水産局長を歴任。また、退職後も(社)岐阜県農畜産公社理事長や(社)ぎふクリーン農業研究センター理事長を務められるなど、長年、県の農業の発展に多大なるご尽力をされてきました。その功績が称えられ、今回の受章となりました。



ここに関係各位に謹んでお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

## 正しく知り、恐れ、そして備える

### ～牧地区防災講習会～

12月20日(日)、ふれあいセンターで牧区長会(種田邦彦区長)主催による牧地区防災講習会が開かれました。

講師に岐阜大学工学部社会基盤工学科の能島暢呂教授のじまのぶとをお迎えし、局地的豪雨や大規模地震災害の防災対策に関する講演が行われました。

講義では将来、東海地方を襲うであろう南海トラフ地震にも触れられ、能島教授が「災害について、正しく知り、正しく恐れ、正しく備えることが大切です。」と語られる言葉に参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲豪雨や地震災害についての知識を高めました